

公表

## 児童発達支援 事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハート唐津エールズ		
○保護者評価実施期間	R7年2月1日		～ R8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 40名	(回答者数)	32名
○従業者評価実施期間	R7年2月1日		～ R8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの特性や気持ちに寄り添った支援を行っており、安心して通所できる環境が整っている	視覚支援や分かりやすい声かけを行い、子どもが見通しを持って活動できるように工夫している	引き続き、子どもの発達段階や特性に応じた支援の提供を行う
2	楽しさを感じられる活動を取り入れる事で、子ども達が意欲的・主体的に利用できている	子どもの成功体験を大切にし、できたことをその場で認める関わりを意識している	職員研修や事例検討を通して、支援スキルの向上と共通理解をより深める
3	適切な職員配置がとれており、専門員が充実している	定期的に研修や勉強会を行い、知識・技術の習得を行っています	引き続き、研修や勉強会を行い、知識・技術の習得を行う

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境(事業所内)	個別で落ち着いて過ごせる静養・個別スペースの確保に課題がある	個別スペースが必要な際は、パーティションを活用した環境調整を行い、個別スペースの確保を行っている
2	家族支援が不足している	保護者会については3か月に1回の頻度で実施しています。一方で、現状ではご家族全員を対象としたイベントや交流会の機会の提供には至っていない	保護者会については3か月に1回の頻度で実施し、随時面談の促しを行う
3	園との連携	関係機関との連携について、園との情報共有が十分とは言えない	引き続き、送迎時を通して積極的に情報共有を行う。園様との連絡を密に行う事で、より一貫性のある支援が提供できる体制づくりを目指す

公表

## 保育所等訪問支援 事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハート唐津エールズ		
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年1月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	21施設	(回答数) 8施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月15日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的見解より助言等伝えることが出来る	・積極的に知識と技術を磨いている	・より知識と技術を研鑽し、同業者との情報交換を行っていく
2	訪問先施設の事情を把握することが出来る	・訪問先施設の思いを把握するとともに、学校の指導要領や保育指針等を確認し、その立場に立って助言を行っている	・より訪問先施設の事情を把握するために、知識や技術の研鑽を行うとともに、関係者との会議等を積極的に行っていく
3	利用している子どもが楽しみにしている	・子どもの不適切行動の背景を把握し伝えるとともに、子どもが快適に過ごせる声掛けや環境調整に努めている	・直接、利用者からの声を大切にしながら、一緒に環境整備を行っていくよう努めていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者との連携が不足している	・訪問日に訪問先施設との話が実施出来ない事もあり、当日の報告が出来ない場合がある。また、実際の訪問支援の詳細が伝えにくいこともある	・訪問日当日の支援内容報告の徹底、定期的な面談や保護者会の実施を行う
2	人員の不足及び人材育成の不足	・訪問支援員が1名のため、一月に実施出来る訪問回数は限られている。また、専門的な知識も必要としており、人材育成にも時間を要する	・人材の確保及び人材育成のためのプログラムを作成。唐津市の課題とも取れるため、市と連携し人材育成に努める
3	訪問先施設の理解が得られない場合がある	・唐津市で保育所等訪問事業が浸透していないため、訪問先施設によっては拒否傾向を示すこともある	・訪問先施設との関係性を良好にするとともに、教育委員会や校長会との連携で理解を促していく

公表

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果

事業所名	チャイルドハート唐津エールズ					公表日	R8年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・ 静と動の空間を分けスペースの活用が十分できている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	・ 室内入口から全体を見渡すことができる		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・ 5S活動にて清潔に保つ事ができている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・ パーテーションで仕切りスペースを確保できている		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・ 毎週水曜日にミーティングを行っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		・ 実施していない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・ 外部研修にも参加している		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2		・不足している	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0		

公表

保育所等訪問支援 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

チャイルドハート唐津エールズ (保育所等訪問)

公表日

R8年2月15日

利用児童数

21名

回収数 8施設

	チェック項目				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ		
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	8			<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な指摘や助言をもらえている</li> <li>専門的にわかりやすく教えてもらえている</li> <li>本人に合った助言をもらえている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生方の立場に立ち、一緒にお子様の環境をより良くしたいと考えています</li> </ul>
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	6	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>発達全般だけでなく、心理や学習指導などにも精通していると感じる</li> <li>専門的な立場から話を聞けて勉強になる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育要項や保育指針等、療育的な知識以外の知識や技術を身につけられるよう努めます</li> </ul>
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	7	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>当日に面談が出来ない場合も紙面等で対応してもらっている</li> <li>こちらの何気ない質問にも報告書を通して答えてもらっている</li> <li>適切に対応してもらい助かっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原則、訪問当日のフィードバックですが、先生方の負担にならないよう最適な方法を検討していきます</li> </ul>
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	8			<ul style="list-style-type: none"> <li>本人や集団指導への助言ももらえ助かる</li> <li>課題に対して優先順位をつけてもらうことで整理できる</li> <li>より詳しく本人の状況を知ることが出来、学校での成長に繋がっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生やお子様の困りごとが具体的に解消もしくは軽減されるよう努めます</li> </ul>
5	事業所からの支援に満足していますか。	8			<ul style="list-style-type: none"> <li>いつもありがとうございます</li> <li>家庭だけでなく、担任として出来ることを学んでいる</li> <li>毎回とても助かっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>より良い支援を目指します</li> </ul>
<p>その他のご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎回、適切な助言をいただき、本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願ひします。</li> <li>授業への助言だけでなく、実際に声をかけてくださったり、周囲の児童への声掛けをしてくださったりと助けていただいています。報告書も指導、支援の在り方を見直す機会となり、またその中に具体的な対応まで記されているため、参考になります。</li> <li>担任が「頑張りや」と思えるような助言をしてもらっています。担任自身がその子と関わっていることでたくさん学ばせてもらい、ありがとうございます。</li> <li>この支援を提案していただいたことで、学校として支援を難しく感じていたお子様の支援を大きく前に進めることが出来感謝しています。まだ始まったばかりですので、これから少しずつ助言を受けながら進めていきたいと考えています。</li> </ul>					<p>ご意見を踏まえた対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>訪問回数が少なかったり、フィードバックの時間が少なかったりなど不具合はあると感じています。お子様自身への支援は元より、先生方への支援こそがこの支援の活かすべきところと捉えています。先生方お一人お一人の要望に合わせて、一緒にお子様への支援を提供したいと考えております。今後とも、ご意見やご要望は遠慮なさらずにお伝えください</li> </ul>	

公表

## 保育所等訪問支援 事業所における自己評価結果

事業所名		チャイルドハート唐津エールズ（保育所等訪問）				公表日	R8年2月15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 制 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	3	0		・現在、教材使用は行っていない	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0			
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	3	0			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	2	1		・不足している。今後、保護者会を開催する 予定	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	3	0		・業務改善に関しては日々行っている	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	0	3		・実施していない	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	3	0			
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	3	0			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	0		・訪問先施設担当者の意向を大切にしている	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	3	0			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー ムなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0		・アセスメントに関しては日々熟慮している	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内 容が設定されているか。	3	0			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	3	0			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	2	1		・不足しているため、検討が必要	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0		・振り返りが当日に共有出来ないことがあ り、検討の必要性がある	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	3	0			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	3	0				

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	1		・保護者とのやり取りが不足している
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		・整えているも、医療機関との連携は乏しいと言える
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	0		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	0		・訪問支援員が協議会の会長をしている
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0		・保護者とのやり取りが不足している
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0		・保護者会にて実施
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3	0		・不足しており、定期的な保護者会等を検討している
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	0		・不足しており、定期的な保護者会等を検討している
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1		・活動内容の共有が不足しているため、積極的にSNS等利用したい
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
訪問先施設への	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3	0		

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	0	・十分に行えている	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0		